平成20年４月22日

各　　位

会 社 名　ＪＫホールディングス株式会社
代表者名　取締役社長　中本　敏宏
（コード番号９８９６　東証第一部）
問合せ先　取締役財務部長　渡辺　昭市
（ＴＥＬ．０３－５５３４－３８０３）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年11月12日に公表した平成20年３月期（平成19年４月１日～平成20年３月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．平成20年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成19年４月１日　～　平成20年３月31日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	300,700	1,980	450	150
今回修正予想（B）	291,000	650	△　850	△　1,250
増減額（B－A）	△　9,700	△　1,330	△　1,300	△　1,400
増減率（%）	△　3.2	△　67.2	△　288.9	△　933.3
（ご参考） 前期実績（平成19年３月期）	289,396	3,416	2,360	815

（参考）１株当たり予想当期純利益（通期）　　△44円22銭

２．平成20年３月期通期個別業績予想数値の修正（平成19年４月１日　～　平成20年３月31日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	5,000	900	550	920
今回修正予想（B）	4,800	750	400	100
増減額（B－A）	△　200	△　150	△　150	△　820
増減率（%）	△　4.0	△　16.7	△　27.3	△　89.1
（ご参考） 前期実績（平成19年３月期）	129,649	1,643	1,450	831

（参考）１株当たり予想当期純利益（通期）　　３円54銭

（注）前期実績につきましては、平成18年10月１日付の純粋持株会社移行前のジャパン建材株式会社（平成18年４月１日～平成18年９月30日）実績と純粋持株会社移行後のＪＫホールディングス株式会社（平成18年10月１日～平成19年３月31日）実績を加味したものであります。

３．修正の理由

＜連結＞

住宅関連業界におきましては、昨年６月の改正建築基準法施行による建築確認厳格化等の影響から、７月以降新設住宅着工戸数が大幅に減少し、当社の連結業績も大きな影響を受けました。

総合建材卸売事業におきましては、需要の急減から主力商品であります合板の市況が急速に軟化し、売上高、収益面とも、前年同期を大きく下回りました。その他の住宅資材におきましても、販売競争の激化から苦戦をいたしました。また、販売先の経営状況の悪化から与信費用が増加したことも、収益面のマイナス要因となりました。

合板製造・木材加工事業におきましては、原料の丸太や接着剤の価格が高止まりする一方で、製品価格の低迷が著しく極めて厳しい事業展開を余儀なくされました。

なお、期末の株価急落を受けて、連結子会社であります通商株式会社における投資有価証券運用損２億円及び減損処理による投資有価証券評価損2.8億円の計上や持分法による投資損失４億円を計上したことも連結業績の下押し要因となりました。

以上のような状況から、当期の業績は、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも予想を大きく下回る見込みとなりました。

＜個別＞

ＪＫホールディングス株式会社の個別業績につきましては、純粋持株会社としての収入は安定しており、売上高は概ね予想に近い水準を確保いたしました。

しかしながら、収益面につきましては、新本社ビルへの移転に伴う償却負担等の費用増加に加えて、子会社の業績低迷から、関係会社株式評価損８億円を特別損失として計上したことから、当期純利益が当初予想を大きく下回る見込みであります。

※　上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以　上